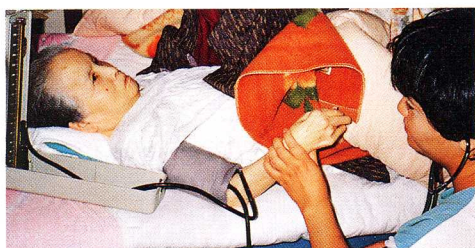


昭和村の老人福祉については、『社会福祉法人昭和村社会福祉協議会』(社協)という機関が設けられ、村内の一人ぐらしや寝たきりのお年寄りの援助活動を行っています。

そして、現在では、ヘルパー(主に一人ぐらしの高齢者や身体障害者の生活を援助する人)2人、福祉活動専門員1人、運転手1人の計4人で仕事を行っています。

仕事の内容は、大きく分けて3つあります。1つは、主に一人ぐらしのお年寄り宅を訪問し、食事・買い物・洗濯などの援助サービスを行っています。2つ目は、寝たきりでお年寄り宅を訪問して、お風呂にに入れてあげたり、床ずれの治療をしてあげたりと、いろいろな介護サービスを行っています。ヘルパーさんが、訪問する家庭は現在、約22軒ぐらいあります。3つ目は、村の各種団体への資金提供です。これには、老人クラブや身体障害者福祉会などがあります。

今後さらに高齢化が進むことが予想される村において、この社協が行っている仕事はますます大切で、必要なことになりつつあります。そうしたときに、他の市町村に先駆けて、医療関係機関と保健機関、さらに社会福祉機関が、一つの大きな施設の中にまとまるという構想は、福祉充実といった面からも、村民から大きな期待が寄せられています。



▲ヘルパーの活動

